

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	川等活用振興事業
事業主体 (連絡先)	木祖村 (長野県木曽郡木祖村大字藪原 1191 番地 1 商工観光課 電話 0264-36-2001)
事業区分	(6) オその他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,787,409 円 (うち支援金 : 1,402,000 円)

事業内容

- ①ヤマトイワナの人工産卵場の造成
水木沢天然林(禁漁区)管理棟付近の清流に、ヤマトイワナの人工産卵場を造成する。
- ②テンカラ釣り専用区域設定に向けた検討
専門家を交え、釣り客にとって満足度の高い専用区間の設定のためのテンカラ釣り実証実験
- ③河川階段の設置
河川環境整備や釣り客のための河川階段を4か所設置。
- ④あやめ公園池の水ぜんぶ抜く事業
料理コンテストを開催し計7点選定。イベントには350人が来場。受賞式も同時開催。



【あやめ公園池の水ぜんぶ抜くイベント】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①ヤマトイワナ人工産卵場を造成することで、地域住民を始め中学生の意識の向上につながることができた。
- ②放流を増やすことで釣果に効果があることが実証できた。
- ③河川に降りやすい場所を増やすことにより、地元や釣り客に川への意識を変えることができた。
- ④料理コンテストの開催を通して、木祖村と特産料理に繋がるアイデアを募ることができた。水抜きイベントを誘客に繋げることができ、特に子ども達の川に対する興味や好奇心を育むことができた。

【目標・ねらい】

- ①ヤマトイワナを増やす取り組み。
- ②テンカラにより釣り客を増やす。
- ③河川に降りやすい場所を増やす。
- ④料理コンテストで川への関心喚起、誘客につながる料理の開発。水抜きイベントで誘客。

※自己評価【 A 】

【理由】全て初めてのイベントであったが予想以上に人が集まり、参加者から高い評価をいただいた。源流の里としてふさわしい事業であると確信できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

ヤマトイワナ人工産卵場は、地元中学生を交え年1回実施し、産卵を増やしていくことでヤマトイワナを増やす。テンカラ釣りは優先区域を設け、一定期間に限定し、PRしながら継続することで誘客につなげる。本事業の「あやめ池料理コンテスト」を「木祖村特産料理」事業に繋げることができた。今後も川等活用事業の観点と、特産料理の組み合わせにより誘客を促進していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある